

令和6年1月11日
国土交通省関東地方整備局
関東技術事務所

第5回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介します～

令和6年1月31日（水）から令和6年2月1日（木）の2日間、第5回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、第16期建設技術展示館の展示技術テーマ「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」、「インフラ分野のDX技術」、「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つのテーマを中心に出席者自らが発表するものです。また、関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された、大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して早期の社会実装、実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表や関東地方整備局の施策について講演します。

- 日時：【1日目】令和6年1月31日（水）10時00分から15時10分まで
【2日目】令和6年2月1日（木）10時00分から15時40分まで
- 会場：・関東技術事務所 建設技術展示館（千葉県松戸市五香西6-12-1）
・オンライン配信（Microsoft Teamsによる配信）
会場定員：各日80名、オンライン定員：各日220名
- 内容：出展技術発表 発表者：13者（詳細は別紙をご覧ください。）
「大学等研究機関とのマッチング」研究発表 3者
講演：2月1日（木）関東地方整備局 企画部施工企画課 課長補佐 二川 祥一
「関東地方整備局によるICT施工普及への取組」
- 応募方法
出展技術発表会は会場とオンラインのハイブリッドとし、CPD、CPDSの認定を受ける予定です。聴講の応募方法は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。

5. 取材について

取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ
千葉県政記者会 松戸記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表）メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

副所長 金澤 哲也（内線：791-205）

技術企画 人材育成課 技術情報管理官 角田 哲章（内線：791-303）

第16期

参加無料

建設技術展示館

第5回 出展技術発表会

「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」3つのテーマを中心に、出展技術の発表をおこないます

関東地方整備局の現場ニーズとのマッチングにて採択された大学等の研究機関が持つ先端的な技術シーズを対象に、連携して技術研究開発を促進し、早期の社会実装・実用化を目指す「大学等研究機関とのマッチング」での研究発表も行います。

TIME SCHEDULE

1日目: 令和6年1月31日(水)
10:00~15:10 (受付9:15~)

会場とオンラインのハイブリッド開催
2日目: 令和6年2月1日(木)
10:00~15:40 (受付9:15~)

タイムスケジュールの詳細は裏面をご覧ください。

研究発表

「副産物・廃棄物のみを主原料とする持続可能なジオポリマーコンクリートによる建設分野の脱炭素への取組」

横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院
藤山 知加子 教授

「わだち掘れ簡易評価手法の開発と、MCIの自動算出による点検業務の生産性向上」

東京大学大学院 工学系研究科 長山 智則 教授

「電気化学的手法による酸性河川水の中和処理と水素回収」

前橋工科大学 工学部 田中 恒夫 教授

講演

「関東地方整備局によるICT施工普及への取組」

関東地方整備局 企画部 施工企画課
課長補佐 三川 祥一

会場・定員

関東技術事務所 建設技術展示館
(千葉県松戸市五香西6-12-1) 各日80名

オンライン配信(Microsoft Teamsによる配信)
聴講者による録画・撮影等は一切禁止 各日220名
(オンライン聴講時も同様)

CPD/CPDS 認定予定

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要です。

申込期限 令和6年1月25日(木)

申込方法 定員になり次第締切

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得

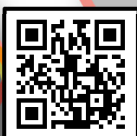
単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの申込フォームより事前登録をお願いします。
詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

CPDSの単位取得については会場での聴講者のみとさせていただきます。ご容赦ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応しかねます。

【主催】
国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所
DX・i-Construction

【賛助】
Kanto Regional Management Service Association



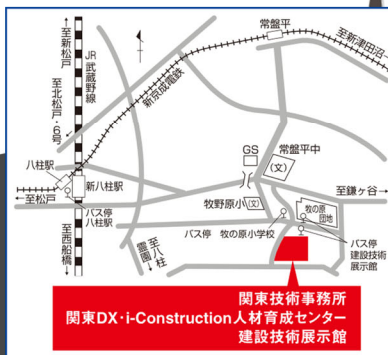
建設技術展示館ホームページ
<https://www.kense-te.jp/>

TIME SCHEDULE

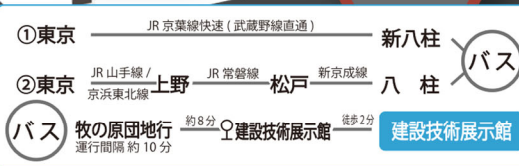
日 程	順番	時 間	技術 No.	出展者/発表者	技術名・講演名
第 5 回 R6年 1月31日 (水) 【建設技術展示館】 & 【オンライン配信】	研究	10:00~10:30	研究 発表	横浜国立大学大学院 都市イノベーション研究院 藤山 知加子 教授	「副産物・廃棄物のみを主原料とする持続可能なジオポリマーコンクリートによる建設分野の脱炭素への取組」
	1	10:30~11:00	A 28	オート化学工業株式会社	コンクリート構造物目地の長寿命化技術「オートン超耐シーラーTF2000」
	2	11:00~11:30	B 22	日特建設株式会社	のり面吹付工の省力化技術「スロープセイバー」
	3	11:30~12:00	A 29	大成建設グループ	コンクリート構造物および舗装の補修・長寿命化・モニタリング技術
	4	13:00~13:30	A 31	中央開発株式会社	最先端技術を使って斜面災害を未然に防ぐ！「SVマップ」「感太郎」
	5	13:30~14:00	B 23	若築建設株式会社	港湾工事のICTブロック据付技術「水中ジャイロ」「水中遠隔玉外し装置」
	研究	14:10~14:40	研究 発表	東京大学大学院 工学系研究科 長山 智則 教授	「わだち堀れ簡易評価手法の開発と、MCIの自動算出による点検業務の生産性向上」
R6年 2月1日 (木) 【建設技術展示館】 & 【オンライン配信】	6	14:40~15:10	A 32	岡三リビック株式会社	補強材の非破壊診断が可能な補強土壁「多数アンカー用NDパネル」
	講演	10:00~10:30	講演	関東地方整備局 企画部 施工企画課 課長補佐 二川 祥一	「関東地方整備局によるICT施工普及への取組」
	7	10:30~11:00	A 33	中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社	グラウンドアンカー緊張力点検の効率化を図る「VIBRES(ビブリス)システム」
	8	11:00~11:30	B 24	サン・シールド株式会社	VR・ARで建設業を魅力的に！
	9	11:30~12:00	C 06	酒井重工業株式会社	電動化および自律化によってCO2排出量削減を目指す締固め機械とICT施工
	研究	13:00~13:30	研究 発表	前橋工科大学 工学部 田中 恒夫 教授	「電気化学的手法による酸性河川水の中和処理と水素回収」
	10	13:30~14:00	A 34	大日本ダイヤコンサルタント株式会社	道路構造物への措置の必要性評価技術「DN-RAMS/SIVE」
	11	14:10~14:40	B 25	清水建設株式会社	3眼カメラによる配筋検査技術「写らく」
	12	14:40~15:10	A 35	世紀東急工業株式会社	路面性状測定車およびコンクリート補修材
	13	15:10~15:40	A 02	建設無人化施工協会・建設無線協会	災害復旧を安全に行う無人化施工技術

- 建設技術展示館は16:00まで開館しておりますので、終了後はぜひご見学いただけますようお願いいたします。
- 構内に駐車場(無料)はございますが、極力公共交通機関でのご来場をお願いします。

発表技術の展示ブースは
QRコードからCHECK



【交通】JR武蔵野線新八柱駅または新京成電鉄「建設技術展示館」下車徒歩2分



〒270-2218
千葉県松戸市五香西6-12-1
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所
建設技術展示館事務局
【TEL】047-394-6471
【H P】https://www.kense-te.jp/

建設技術展示館



国土交通省 関東地方整備局
関東技術事務所

DX・i-Construction